

テーマ：キリストに全てを委ねた歩みとはどのようなものか？

## ○キリストの支配に委ねた歩み：“キリストの平和”に支配される

### 1. 定義：“平和とは何か？”(15a)

「平和とは悪意や敵意がなく、調和や幸せが存在する状態のことです。」(HB・チャールズ)

「平和とは文字通り、離れ離れ、分割されていたものが再び結び合わされ、一つとなることを描いています。平和は、分裂や不和とは対局にあるものです。一致と調和の状態である平和は、戦争とは真逆のものなのです。」

#### 1) キリストのもたらす\_\_\_\_\_

※コロサイ 1:19-20

「なぜなら、神はみこころによって、満ち満ちた神の本質を御子のうちに宿らせ、その十字架の血によって平和をつくり、御子によって万物を、御子のために和解させてくださったからです。」

※ローマ 5:1

「ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。」

#### 2) キリストのもたらす\_\_\_\_\_

「自分が神を知っていて、神も自分を知ってくださる、そしてこの関係が生前、死、また永遠にまで続く神の恵みを保証していると、そう完全な確信を心に持つ人の平安ほど、平和なものはありません。」(JI・バッカー)

※ヨハネ 14:27

「わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。」

※ヨハネ 16:33

「わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」

※ローマ 8:31-32

「…神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。私たちすべてのために、ご自分の御子をさえ惜しまずに死に渡された方が、どうして、御子といっしょにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがありましよう。」

## 2. 効果：“キリストの平和”はどんな働きをするのか？(15b-c)

a) キリストの平和は\_\_\_\_\_への平和を生み出す(15b)

※ローマ 12:5

「大ぜいいる私たちも、キリストにあって一つのからだであり、ひとりひとり互いに器官なのです。」

※1 コリント 12:12-13

「ですから、ちょうど、からだ一つでも、それに多くの部分があり、からだの部分はたとい多くあっても、その全部が一つのからだであるように、キリストもそれと同様です。なぜなら、私たちはみな、ユダヤ人もギリシヤ人も、奴隷も自由人も、一つのからだとなるように、一つの御霊によってバプテスマを受け、そしてすべての者が一つの御霊を飲む者とされたからです。」

「互いに仲違いしてはいけません。あなたがたは平和に召され、一つのからだにあって大切にされているのです。からだの中で片方の手がもう片方の手と争うことがあるでしょうか。足と目が争うでしょうか。そんなことは当然ありません。それらは一つのからだの中にあるのです。だから、あなたも一つのからだにある他の兄弟姉妹に同じようにしなさい。全ての争いを捨ててしまいなさい。(チャールズ・スポルジョン)

b) キリストの平和は\_\_\_\_\_を生み出す(15c)

※コロサイ 1:3

「私たちは、いつもあなたがたのために祈り、私たちの主イエス・キリストの父なる神に感謝しています。」

※コロサイ 1:12

「また、光の中にある、聖徒の相続分にあずかる資格を私たちに与えてくださった父なる神に、喜びをもって感謝をささげることができますように。」

※コロサイ 3:16-17

「…感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。あなたがたのすることは、ことばによると行いによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。」

※2 テサロニケ 5:18

「すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」